

国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会 中間評価シート

評価者	委員
評価日	平成16年7月 日

課題名	の研究
研究期間	平成13年度～平成17年度
プロジェクトリーダー	研究部長

< 評価の視点 >

研究の掲げた目標が、技術政策課題の解決に向けて、または解決するために、適切かつ明確に設定され、研究を継続することが妥当であるか。[必要性]	
研究計画、実施方法や研究体制が、目標を達成するために妥当か。研究が適切に進捗しているか。[効率性]	
目標とした研究成果が得られる見込みであるか。研究成果は国土技術政策等への反映を通じ社会への貢献が期待できるか。[有効性]	

< 評価の結果 >

評価項目	評価指標	コメント
研究の目標、研究計画、実施方法、体制等の妥当性	1 適切である 2 概ね適切である 3 やや適切でない 4 適切でない	
研究の進捗状況 (中間達成度)	1 順調である 2 概ね順調である 3 やや順調でない 4 順調でない	
研究継続の必要性・妥当性	1 計画通り継続 2 計画を一部修正の上継続 3 計画を大幅に修正の上継続 4 中止	

< その他特筆すべき点 >

評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄に を付けていただき、その補足としてコメントをご記入下さい。
 評価項目の評価の他に、必要があれば<その他特筆すべき点>にご記入下さい。

国土技術政策総合研究所研究評価委員会分科会 事後評価シート

評価者	委員
評価日	平成16年7月 日

課題名	の研究
研究期間	平成13年度～平成15年度
プロジェクト名	研究センター

< 評価の視点 >

<p>国総研で実施することが妥当であったか、研究の掲げた目標が、技術政策課題の解決に向けて、または解決するために、適切かつ明確に設定されていたか。 [必要性]</p> <p>研究計画、実施方法や研究体制が、目標を達成するために妥当であったか。 [効率性]</p> <p>目標とした研究成果が得られているか。研究成果は国土技術政策等への反映を通じ社会への貢献が期待できるか。 [有効性]</p>	
--	--

< 評価の結果 >

評価項目	評価指標	コメント
研究の目標、研究計画、実施方法、体制等の妥当性	1 適切であった	
	2 概ね適切であった	
	3 やや適切でなかった	
	4 適切でなかった	
研究の成果及び目標達成度	1 目標を十分達成できた	
	2 概ね目標を達成できた	
	3 あまり目標を達成できなかった	
	4 目標を達成できなかった	

< その他特筆すべき点 >

評価に当たっては<評価の結果>の評価指標欄に を付けていただき、その補足としてコメントをご記入下さい。
 評価項目の評価の他に、今後の発展性、新たな課題等、必要があれば<その他特筆すべき点>にご記入下さい。